

2輪貸切走行車両規定および装備

2023年12月

1. ノーマル車両の定義
国内メーカーより市販された車両で、吸排気系が完全ノーマル状態のもの。外国メーカーの車両は、国内メーカーの車両と同等の排気音量とする。
2. 登録車両（ナンバー付き）の定義
一般公道での使用を目的に、『道路運送車両法』および『道路運送車両法の保安基準』に適合し車検合格した登録車両（ナンバー付き）。なお、車検対応範囲内での変更（改造）は可能。
3. 競技車両（レーサー）の定義
①競技を目的に製作された専用車両。②一般市販車をベースに競技用に改造された車両。
4. 保安部品
ノーマル車両および登録車両（ナンバー付き）での走行の際は、ヘッドライト、ウインカー、バックミラー等を取り外さなくても構いません。その場合、ビニールテープ等で飛散防止対策をしてください。また、保安部品の一部を取り外していただくことも構いません。
5. タイヤ・ホイール
タイヤバランス用ウェイトは、ガムテープで固定し脱落がないようにご注意ください。
6. 4サイクル車両オイル受けアンダーカウル装着について
4サイクル車両のオイル漏れによる転倒事故が多発しております。事故防止のため、オイル受けアンダーカウルの装着を強く推奨します。
7. ゼッケン
タイム計測を行わない場合でもゼッケンの貼付が必要となりますので、フロント及び両サイドに貼付してください。車両形状により貼付が困難な場合はお問い合わせください。
8. 音量について
走行する全ての車両は、消音効果を持つサイレンサーを装着し、下記の音量規制値に合致したものに限定させていただきます。走行車両を自走でご来場する場合、公道では保安基準適合範囲内の音量規制値を超えないようご注意ください。
○コース2000

	測定方法	距離 (m)	音量規制値 (db)
測定A	競技用車両（レーサー）	0.5	105下
	登録車両（ナンバー付き）	0.5	96以下
測定B	競技用車両（レーサー）	10	110以下
	登録車両（ナンバー付き）	10	100以下

 - ・測定A：車両の排気量別に定められた回数が目安(5,000～7,000回転)で行います。
 - ・測定B：走行時にコントロールタワー前を通過した際に測定した数値が規制値以下とする。
 - ・音量測定をご希望の方は、コントロールタワー1Fまでお申し出ください。
○コース1000
 - ・ミニバイク／2ストローク49cc以上80cc以下の車両・4ストローク150cc以下の車両 音量規制値105dB以下
 - ・2輪（上記ミニバイク以外）／コース2000に準ずる。
9. 服 装
①レーシングスーツは、皮製もしくは皮製と同等の素材のものでMFJ公認のものを推奨します。ただし、2ピースタイプは、MFJ公認のものに限ります。また、脊椎パッドは、必ず装備してください。装備のないレーシングスーツを着用される方は、別体式の物をご用意ください。
②レーシンググローブは、皮製もしくは皮製と同等の素材のもので指先および手首が覆われているものに限ります。
③レーシングシューズは、レーシングタイプで高さが200mm以上あるものを推奨します。
④アンダーウェア・インナーパンツ・チェストガード・エアバックの着用を推奨します。
10. ヘルメット
走行時は必ずヘルメットを着用してください。ヘルメットは、フルフェイスに限り、MFJ公認のものを推奨します。『ジェット型、2WAYタイプのシステムヘルメット、オフロード用、半キャップ、工事用は不可です』
また、一度転倒等で衝撃を受けたものや、たとえ外傷等がないものでも使用が2年以上過ぎた場合には、衝撃吸収力が低下している場合がありますので、新しいものとの交換をお勧めします。

11. 車載カメラ・無線機

- ・装備品（ヘルメット、スーツなど）に車載カメラや無線機を装着することは禁止します。
- ・カメラを取り付ける際は、カメラと台座のみとし延長ステーの取り付けは禁止です。台座を含めて15センチ以内で施工してください。
- ・車体へのカメラ、無線機およびデバイスの取り付けを行う場合は、走行中に落下しないよう万全な対策を施してください。取り付けステーの長さや取り付け状態によっては、走行中の安全が守れないと判断し取り外していただく場合もありますのでご注意ください。

12. 当施設との往復（一般道）中におけるご注意

- ・安全への意識とドライバーとしての良識を常に持ちつつ、ルールに従った運転を行ってください。
- ・速度超過などの暴走運転などの危険行為は、近隣住民への迷惑行為となりますので絶対におやめください。
- ・集団でのご来場は、騒音被害の原因となりますので固くご遠慮願います。
- ・違法車両によるご来場は一切お断りし、警察に通報いたします。

《主催者様にお願い》

主催者様におかれましては、安全にモータースポーツを楽しんでいただくため、本規定を参加者の皆様にご周知いただきますようお願いいたします。また、本規定の記載範囲であっても、走行中の安全が担保されていないと判断した場合は、走行の中断または中止していただくことがございます。

4輪貸切走行車両規定および装備

2023年12月

1. ノーマル車両の定義

国内メーカーより市販された車両で、吸排気系が完全ノーマル状態のもの。
外国メーカーの車両は、国内メーカーの車両と同等の排気音量とする。

2. 登録車両（ナンバー付き）の定義

一般公道での使用を目的に、『道路運送車両法』および『道路運送車両法の保安基準』に適合し車検合格した登録（ナンバー付き）車両。なお、車検対応範囲内での変更（改造）は可能。

3. 競技車両の定義

- ①競技を目的に製作された専用車両（フォーミュラカー、GT）
- ②一般市販車をベースに競技用に改造された車両（N1、N2、チューニングカー）

4. 音量について

走行する全ての車両は、消音効果を持つサイレンサーを装着し、下記の音量規制値に合致したものに限定させていただきます。

○コース2000・コース1000共通

- ・登録車両（ナンバー付き）／距離0.5m 音量規制値96（dB）以下
車両停車状態で排気マフラー出口から45度の角度で0.5m後方にて最大出力75%の回転数で測定し規制値以下とする。

○競技（レース）車両

測定方法	距離（m）	音量規制値（dB）
測定A	0.5	115以下
測定B	10	110以下

- ・測定A…車両停車状態で排気マフラー出口から45度の角度で0.5m後方にて最大出力75%の回転数で測定し規制値以下とする。
- ・測定B…走行時にコントロールタワー前を通過した際に測定した数値が規制値以下とする。
- ・直管ストレートパイプ構造マフラー装着車両の走行は禁止します。ただし、JAF公認レースにおける車両につきましては、JAF国内競技規則に準じた車両になります。

5. けん引フック

車両については、牽引フックを必ず装着してください。

また、スポイラー装着（フロントリア共に）車両は、牽引フックが、スポイラーに覆われた状態ではないように加工、または外付けの施しをお願いします。ただし、ネジ込み式の純正フック（ポルシェ、BMW他）は走行中、突起物となり危険をもたらす場合がありますので、車両に常備携帯してください。

※参考 JAF国内競技規則第4章第8条を参考にしてください。

6. ロールバー

ロールバーがなくても走行可能ですが、安全性を考慮する上で、装着を推奨します。

また、オープンカー、グラストップ、Tバールーフなどのルーフに強度のない車両は、接触、横転事故の危険回避のため、強度のあるロールバーを装着される事が望ましいです。なお、ロールバーが装着されていない場合は、ルーフを完全に閉じた状態にしてください。

7. タイヤ・ホイール

タイヤは、スリップサインがでていないものを使用してください。

ホイールのバランス用ウェイトは、ガムテープで固定してください。

8. シートベルト

シートベルトは、3点式以上となりますが、4点式以上を推奨します。なお、オープンカーの場合は、ルーフを開けたままで走行する場合には、4点式以上に限りません。

9. ゼッケンシール

コース2000は、ボンネットと左右のドア、コース1000は、左右のドアに貼付してください。タイヤメーカー販売のゼッケンシールを推奨します。

10. 飛散防止のテーピング

全てのガラス製ヘッドライト、ウィンカー、ストップランプ等は、飛散防止として、ビニールテープ等でテーピングを施して下さい。

11. 消火器

粉末（ドライパウダーなど）または、AFFF（泡）製で、薬剤量1.5kg（0）以上で手動または自動消火装置の搭載を推奨します。

12. 服 装

①レーシングスーツは、走行会形式の場合、耐火耐熱構造（ノーメックス素材使用）のスーツ装着を推奨します。また、耐燃素材の長袖・長ズボンの着用も可となります。なお、レースの場合は、耐火耐熱構造（ノーメックス素材使用）のスーツ装着が義務となります。

②レーシンググローブは、FIA公認のものを推奨します。素手、軍手、作業用手袋などは不可です。

- ③レーシングシューズは、FIA公認のものを推奨します。また、運動靴は可ですが、サンダルは不可です。
- ④フェイスマスク、アンダーウェアは装着を推奨します。FIA公認のものを推奨します。

13. ヘルメット

走行時は必ずヘルメットを着用してください。

ヘルメットは、FIA公認、JIS規格およびSNELL規格のものとなります。また、2輪用ヘルメットでもMFJ公認のものは可となります。半キャップ・工事用のものは不可です。

※オープンカーで走行の際は、ジェット型は不可となります。また、一度転倒等で衝撃を受けたものや、たとえ外傷等がないものでも使用が2年以上過ぎた場合には、衝撃吸収力が低下している場合がありますので、新しいものとの交換をお勧めします。

14. 車載カメラ・無線機

装備品（ヘルメット、スーツなど）に車載カメラや無線機を装着することは禁止します。

- ・カメラを取り付ける際は、カメラと台座のみとし延長ステーの取り付けは禁止です。台座を含めて15センチ以内で施工してください。
- ・車体へのカメラ、無線機およびデバイスの取り付けを行う場合は、走行中に落下しないよう万全な対策を施してください。
- ・取り付けステーの長さや取り付け状態によっては、走行中の安全が守れないと判断し取り外していただく場合もありますのでご注意ください。

15. フルスモークの禁止

4輪車両のフロントガラス、運転席および助手席窓ガラスにフルスモークフィルムを貼り外部から車の中を見えないようにする仕様は禁止です。

16. 当施設との往復（一般道）中におけるご注意

- ・安全への意識とドライバーとしての良識を常に持ちつつ、ルールに従った運転を行ってください。
- ・速度超過などの暴走運転は、近隣住民への迷惑行為となりますので絶対におやめください。
- ・集団でのご来場は、騒音被害の原因となりますので固くご遠慮願います。
- ・違法車両によるご来場は一切お断りし、警察に通報いたします。

《主催者様にお願い》

主催者様におかれましては、安全にモータースポーツを楽しんでいただくため、本規定を参加者の皆様にご周知いただきますようお願いいたします。また、本規定の記載範囲であっても、走行中の安全が担保されないと判断した場合は、走行の中断または中止していただくことがございます。